



## 実体経済における価値

令和8年1月5日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

貨幣価値は、その生産性において存在するのであり、それら判断は、実体経済が、その貨幣価値の創造と価値それ自体を有するという理解を与えるものである。

これらはグローバル経済が金融経済に支配される現実に対して、異なる視点を与えるものである。

それら実体経済の進歩が高い生産性、すなわち今日の産業革命という現実とともに、より優れた生活を実現することは可能であるものであり、それら視点は正しい経済政策において生活の向上を実現できるものである。

これらは資本主義という現実において、実体経済の新たな価値への理解を提案するものである。

生産性は、生活需要とともに、より優れた社会と生活を実現できるものであり、今日のデジタル革命における効率性や生産性の向上は、生活に直結し、その豊かさの創造を実現できるものである。

これらは資本における価値という基準と判断を経済に対して新たに提案するものである。

世界における大きな金融資本は正しい価値を見出し、その自己の価値の制定を実現できるならば、経済に対して新たな判断を求めることができると考える。

それら視点におけるグローバル経済への判断は、健全な資本価値と現実の育成を求めることができると考える。

生活需要における企業の生産性はそのライフラインを維持するものであり、それらは正しい経済における安全保障という理解を与えるものである。

これらは経済の枠組みや意味と価値への理解を再度提案するものであり、資本主義の結果がマネーゲームであるならば、それと相違する新たな現実が存在するかもしれない。